

**一般会計とは・・・**  
市の基本的な仕事(福祉、教育など)を行う予算です。主に市税でまかっています

**特別会計とは・・・**  
国民健康保険など特定の収入があるものことです。独立した予算で収支を明確にし、一般会計と分けています(全11会計)

**企業会計とは・・・**  
自らの収益で運営している上下水道事業のことです

**税収減でも行政サービスを維持**

今年度の一般会計当初予算額は495億円。前年度と比較して18億円(3.5%)の減額となりました。

予算編成にあたっては、国の方針である「新たな日常」の実現に向けた動きを進めるとともに、第Ⅱ期基本計画で掲げる「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」の実現に向けた取り組みに重点を置いています。

新型コロナウイルス感染症の影響により市税の大幅な減収が見込まれ、予算規模も縮小する中でも、福祉などの行政サービスを維持できるような予算配分となっています。



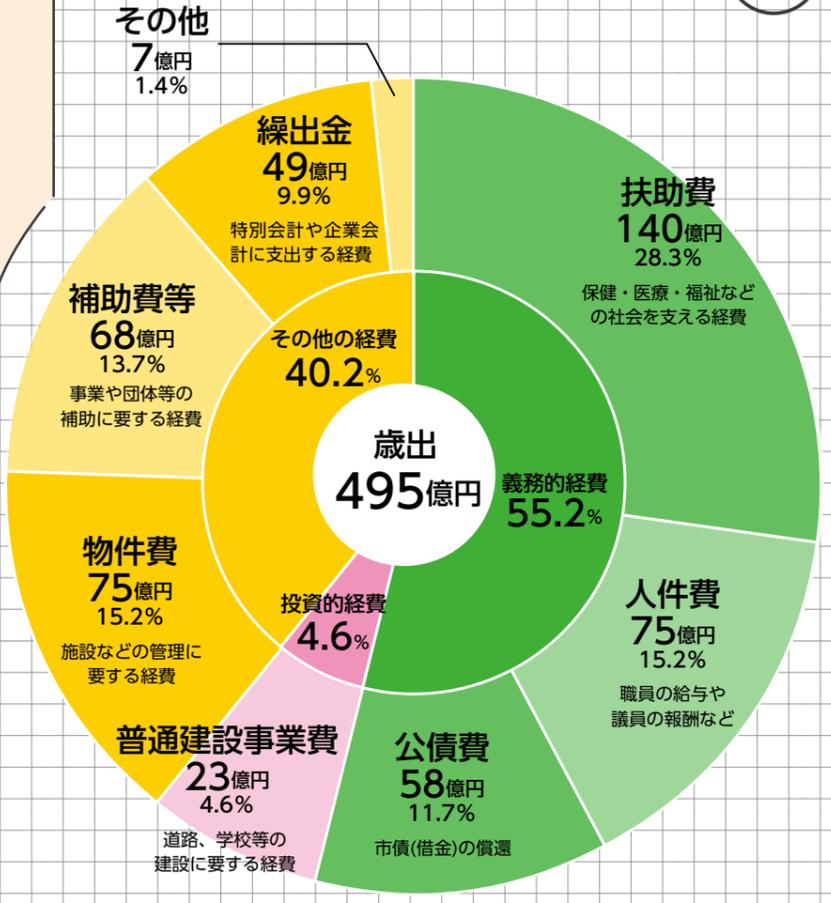
**扶助費の予算額は過去最大**

扶助費は、子育て世帯への支援拡充や高齢化により、年々増加傾向にあります。今年度は、民間保育施設の新設に伴う給付費の増加もあり、合併後最大の予算額となりました。

■扶助費の増加額  
H18決算：61億円  
R3当初：140億円 ← +79億円

古河市が支払うお金の内訳

一般会計 **歳出**

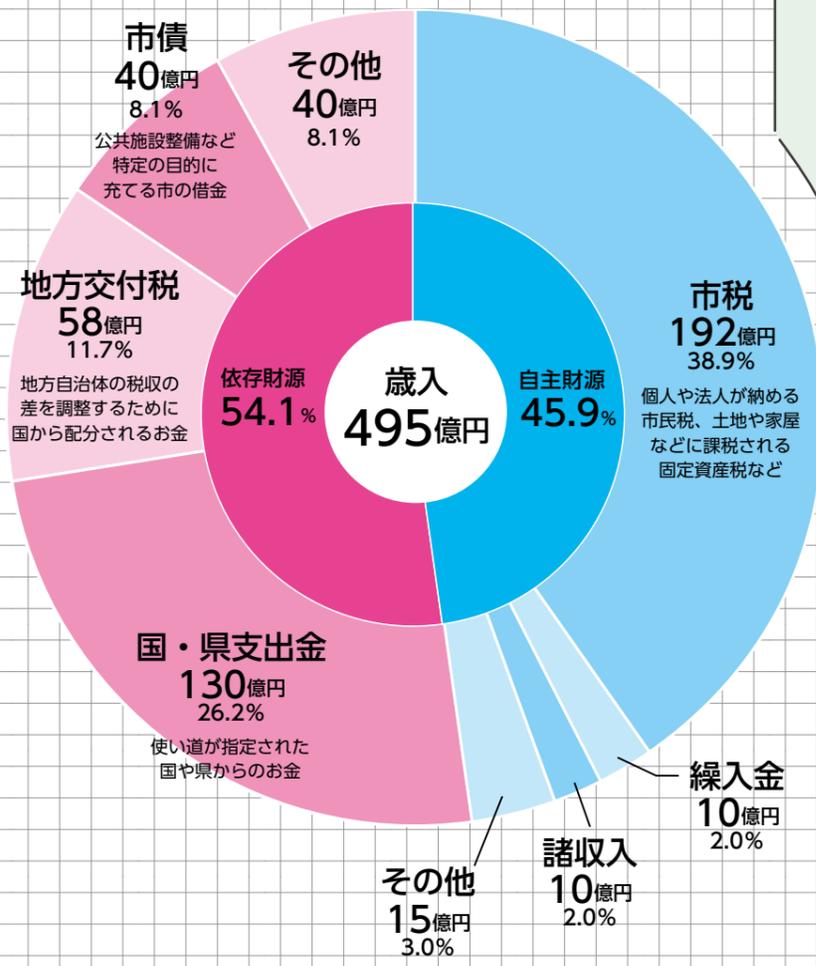


**義務的経費と投資的経費とは？**

扶助費や人件費など、支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費を義務的経費と言い、道路や学校等の建設に要する経費を投資的経費と言います。

古河市に入るお金の内訳

一般会計 **歳入**



**市税の減少幅は過去最大**

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民税および固定資産税の大幅な減収が見込まれます。市税全体では、昨年度に比べ15億円の減収となります。これは合併後最大の減収額です。

■市税の減収額  
R2当初：207億円  
R3当初：192億円 ← -15億円

**自主財源と依存財源とは？**

市が自ら徴収するお金である自主財源に対し、国から定められた目的のために交付されるお金を依存財源と言います。そのため、自主財源の割合が大きいほど、行政運営がしやすくなります。